

各 位

会 社 名 K F E J A P A N株式会社
 (コード番号3061：名証セントレックス)
 本社所在地 横浜市港北区新横浜3丁目18番地20
 代表者名 代表取締役社長 原田 隆朗
 問合せ先 執行役員CFO管理統括本部長 田村 博行
 電話番号 045-474-1245
 (URL <http://www.kfegr.com/>)

第 2 四半期（累計）連結業績予想の修正および
 四半期ベース（3ヵ月間）での連結営業利益の黒字化に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 22 年 5 月 18 日に公表した平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間に係る連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、当第 2 四半期（3ヵ月間）におきましては、11 四半期ぶりに営業利益の黒字化となる見込みですので、併せてご報告させていただきます。

記

1. 平成 23 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値の修正
 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

項目	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,200	10	0	90	3,984.06
今回修正予想 (B)	3,447	△29	△113	△131	△5,634.89
増減額 (B-A)	247	△39	△113	△221	-
増減率 (%)	7.7	-	-	-	-
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	3,944	△304	△322	7	315.89

2. 修正の理由

当第 2 四半期累計期間の売上高に関しましては、電子部品事業の主要顧客である大手日系メーカーからの受注回復により、中国の売上高が増加し、前回発表予想より増加となりました。しかしながら、売上高の増加に伴った粗利益の改善には至らず、為替差損等の影響もあり、経常利益および四半期純利益の回復には至らない見込みでございます。

当社グループの業績に関しては引き続き回復傾向にあるものの、平成 22 年 5 月 18 日に開示した第 2 四半期連結累計期間の業績予想を上記のとおり修正いたします。

通期予想につきましては、当社グループのコア事業である電子部品事業の回復等を勘案した結果、修正はいたしません。

【参考資料】四半期ベース（3カ月間）では11四半期ぶりの営業利益の黒字化達成

前述のとおり、当社グループの事業構造改革を進めた結果、四半期ベース（3カ月間）での連結営業利益は、平成20年3月期第3四半期以来、11四半期ぶりに黒字化を達成できる見通しとなりました。ステークホルダーの方々には、約2年半に及ぶ損失を計上した期間におきまして大変ご心配をお掛けしましたが、当第3四半期以降も集中と選択を進め、更なる利益体質の向上に努める所存でございます。

(1) 第1四半期比較（3カ月間）の連結業績

(単位：百万円)

項目	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
平成22年3月期第1四半期決算(A)	1,850	△194	△204	△216
平成23年3月期第1四半期決算(B)	1,671	△64	△103	△121
増減額(B-A)	△179	130	101	95
増減率(%)	△9.7	-	-	-

(2) 第2四半期比較（3カ月間）の連結業績

(単位：百万円)

項目	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
平成22年3月期第2四半期決算(A)	2,093	△111	△119	223
平成23年3月期第2四半期決算(B)	1,776	36	△10	△10
増減額(B-A)	△317	147	109	△233
増減率(%)	△15.1	-	-	-

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上